

暗唱聖句

イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。	マタイによる福音書 17章2節
---	-----------------

ねらい

イエスさまこそが神さまの愛を実現される方だということを伝えたい。

説教作成のヒント

イエスさまの顔が太陽のように輝き、服が光を放つように真っ白くなった不思議な「変容」の意味は「復活と昇天」のイエスさまを象徴する姿。ここでは、さらに一步踏み込んで、イエスさまにおける神さまの愛の表れとしてとらえ、語りたい。

豆知識

- ・モーセとエリヤは旧約聖書に登場する、イスラエルにとって大切な祖先。それぞれ「律法」と「預言者」を代表する。
- ・5節は3:17の主の洗礼で天から響いた言葉と同じ。

説教

イエスさまは、弟子のペトロとヤコブ、ヨハネを連れて高い山に登りました。なんとその時、弟子たちの目の前でイエスさまの顔が太陽のように輝き、服が光を放つように真っ白くなったのです。そして、ずっと昔の人であるモーセとエリヤと一緒に話をしていて、というのです。とても不思議なことですね？何が起こったのでしょうか？

光が輝くといえば、クリスマスにろうそくをつけた人も多いのではないのでしょうか。ろうそくの光は、部屋を隅々まで明るくし、その炎は周りを温めることができます。光というのはちょうど、神さまの一人一人を大切に思う愛が、世界の隅々まで広がって、人々の心を温めることに似ていますね。

イエスさまが光輝いたということは、神さまはイエスさまによって、神さまの愛を伝えようとしてくださったということです。

（しかも、ここでは、モーセやエリヤではなく、イエスさまお一人が光り輝いたのです。）

イエスさまという方は、行く先々で、病気の人をいやし、仲間はずれにされていた人たちに優しくし、一人一人を大切にし、愛してくださいました。そうやって、神さまの愛を分け与えたのです。イエスさまこそが、分け隔てない神さまの愛を人々にもたらす方です。

さて、ペトロは、この様子を見ていいいます。「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」

けれども、ペトロがまだ話しているうちに、天から神さまの声がします。「これは私の愛する子。わたしの心に適う者。これに聞け。」

天の神さまから、(モーセやエリヤではなく) イエスさまこそが、神さまの愛を伝える神の子だということが示されたのです。そのことは、この後、イエスさまが十字架にかかり、復活されたことによって、私たちにも目に見える形で示されたのです。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

67番

改訂53番

やってみよう

「イエス様の姿が変わった」の劇をしてみよう

用意するもの...イエス様の衣装(白い布と黒っぽい布)

イエス様役の方は白い布を体に巻き、その上に黒いマントのような布をはおる。

登場人物...イエス様、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ、ナレーター(天の声もする)

ナレーター: イエス様はペトロ、ヤコブとその兄弟ヨハネを連れて高い山に登られた。

(イエス様、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ 山に登りながら登場)

イエス: さあ、頂上につきました。

あ! モーセとエリヤだ! (ぱっと黒いマントを脱ぐ)

共に語ろう! (白い布になったイエス様の姿)

ペトロ: わたしがここにいるのはなんてすばらしい!

わたしはここに仮小屋を3つたてましょう。

1つはあなたのために。

1つはモーセのために。

もう1つはエリヤのために。

天の声(ナレーター): これは私の愛する子、わたしの心にかなう者。これに聞け!

ペトロ、ヤコブ、ヨハネ: うわあ~!(床にひれ伏す)

イエス: 起きなさい。おそれるな。今みたことは、人の子が復活するまで誰にも話してはならない。

話してみよう

ペトロはなぜ仮小屋を建てると言ったのだろう。

天の言葉は別の所でも聞いたことがある言葉です。どこだったかわかるかな?

今週の聖句

人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。
マタイによる福音書 4章4節

ねらい

悪魔の3つの誘惑のうち、今日の聖句に絞り、神さまは言葉を通して私たちと共に生きてくださることを語りたい。

説教作成のヒント

イエスさまはメシアとしての使命をもって悪魔の誘惑と闘い、勝った。それは、わたしたちの命が、パンをはじめとする食料だけでなく、神さまとのかかわりによって支えられ、生かされるものだから。

豆知識

- ・悪魔は神さまからイエスさまを引き離す存在。同じように、私たちが神さまから引き離す誘惑を仕掛ける存在。
- ・当該聖句は申命記8:3からの引用。

説教

イエスさまは、神さまの霊に導かれて、荒れ野へ行きました。荒れ野というのは、雨がほとんど降らないので水も少なく、草も木も生えない、砂と石だけの場所です。もし私たちがそこで何日も過ごすとしたら・・・ちょっと怖いですね。

その荒れ野で、イエスさまは一人で40日も、何も食べず、水もほとんど飲まない「断食」をして過ごしました。私たちは朝ご飯を食べないと、おなかがすいて、元気が出ません。それを考えると40日の断食で、イエスさまはどんなにお腹がすき、体の力を奪われてしまっていたか、と思いますね。

その様子を見た悪魔は、これはチャンスと思ったのでしょうか、イエスさまの所へ来て言うのです。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ」。

悪魔の言うように、イエスさまは神の子です。だから、おなかがすいているのなら、石をパンに変えて、おなか一杯にしてはどうか、というのです。けれども、イエスさまは言うのです。「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」

わたしたちが生きるために、パンやごはんなど、食べることは欠かせません。だから、私たちも毎日、欠かさずに食事をするのです。けれども、パンだけあれば生きることが出来るでしょうか。

例えば、皆さんの周りのお友達がいると思います。友達と一緒にいると楽しいですし、元気になれるものです。皆さんの家族も皆さんを大切に思い、いつもそばにいて、嬉しいことがあった時には一緒に喜び、けがや病気などをした時には心配して、助けてくれるのではないのでしょうか。私たちは、周りの人々を通して、喜びや元気や助けをもらいながら、生きているのです。私たちは決して食べ物だけで生きているのではなく、一緒に生きてくれる人が必要なのです。

神さまという方も、お友達や家族と同じように、いつも私たちと一緒にいてくださる方なのです。

私たちは聖書を通して、神さまの言葉を聞くことができます。それらは、私たちを力づけたり、喜ばせてくれたり、悲しい時には慰めたりしてくれるような、神さまからの直接お語りかけです。一つ一つの言葉を通して神さまはわたしたちの近くにいてくださるのです。

イエスさまは、悪魔の「石をパンになるように命じたらどうだ」という誘惑をはねのけましたが、それは、まずイエスさまご自身が神さまの言葉と共に生きることを示すためでした。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

60番

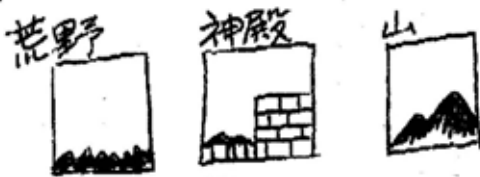
改訂51番

やってみよう

悪魔の誘惑とイエス様の言葉を描いてみよう。

用意するもの：荒野・神殿・山を描いた紙を人数分用意する。

(例)



× 3枚ずつ 白と黒 1体ずつ絵の中に入るくらいの人形を作る

(白い人形はイエス様、黒い人形は悪魔に見立てる)

作り方...それぞれの場面の紙に、まず始めに悪魔を置き、誘惑の言葉を言ってみる。

- ・ 荒野では「神の子ならこれらの石がパンになるように命じたらどうだ」
- ・ 神殿では「神の子なら飛びおりたらどうだ」
- ・ 山では「もしひれ伏してわたしをおがむなら、これをみんな与えよう」

それぞれの場面にイエス様を貼り、イエス様の答えた言葉を書いてみる

- ・ 荒野では？ (4 : 4)
- ・ 神殿では？ (4 : 7)
- ・ 山では？ (4 : 10) 聖書から見つけて書いてみよう

ひとつひとつ貼ったら、紙を手に持ち、悪魔を振り落とす。



話してみよう

- ・ 荒野に40日間、断食して過ごされたイエスさまの苦しみを考えてみよう。
- ・ 私たちはどんな時、誘惑に会うことがあるとを感じるだろう？その時、どうしたかな？

暗唱聖句

いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。

マタイによる福音書 20章 27節

ねらい

僕となるということは、人に仕える者となることであり、人に仕えることは、人を愛すること。僕となることは、人を愛することそのものであることを伝えたい。

説教作成のヒント

この言葉は、イエスさまが十字架への道のりの途上で語られた言葉。ご自身が十字架で命を捧げることで「皆の僕」となり、世に赦しと愛をもたらした。

豆知識

- ・「王座にお着きになる時」は「あなたの御国で」の意味。
- ・杯は、苦難を意味する。(参照：マタイ 26：42 ここでは、十字架の苦難が杯と言われている。)

説教

イエスさまは今日、エルサレムという町へ向かって、旅をしています。皆さんも、お家の人と出かけることがあるのではないのでしょうか。そういう時は、とても楽しい気持ちになりますね。けれどもこの時、イエスさまは楽しい旅行をされたのではなくて、十字架にかかるためにエルサレムへ向かったのです。

途中で、ゼベダイの子と言われる、弟子のヤコブさんとヨハネさん、そしてそのお母さんが、イエスさまの所へ来てこう願いました。「イエスさまが神の国の王様となる時、あなたの右と左に二人を座らせてください」というのです。これは、ヤコブさんとヨハネさんをイエスさまの次に、偉くしてください、と言っているのです。

ヤコブさんとヨハネさんが、他の弟子よりも偉くなりたい、と思ったのは、そうなればみんなに威張ることが出来、誰もが自分の言うことを聞き、何でも自分の思い通りにできると思っていたのでしょうか。

でも、偉くなりたいという思いを持ってしまうのは、他の弟子よりも自分のことが大切だったからではないのでしょうか？人よりも偉くなりたい、と思う時、知らず知らずのうちに、相手を大切に思ったり、愛することが出来なくなってしまうのかもしれない。

では、イエスさまはどうだったのでしょうか。人よりも偉くなるために生まれてきたのではありませんでした。そうではなくて、全ての人を大切に思い、愛するために生まれてきたのです。

イエスさまは、重い病気や貧しさなどのために神さまに見捨てられたと思われて、仲間外れにされている人たちの苦しみを知っておられました。そして、ご自分も、同じ痛みを負うために、十字架にまでかかったことがそれを現しています。

イエスさまは、ヤコブさんとヨハネさんも、人を大切に、愛する弟子になってほしいと願ったのだと思います。だから、二人を右と左に座り偉くなることを、お許しにならなかったのです。

そして、他の弟子たちよりも偉くなりたい、という思いは、ヤコブさんとヨハネさんだけではなく、他の十人も同じ気持ちでした。その証拠に、十人は二人がこのようなことをするのを見て、腹を立てるのです。

そういう弟子たちを見たイエスさまは、もしかしたら悲しく思われたのかもしれませんが、なぜなら、イエスさま自身が、人の上に立つよりも、十字架にかかる方だったからです。

「いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。」

僕というのは、一番偉くない人です。でも、一番、人のために働くのですから、一番、人を大切に、愛することが出来る立場なのかもしれません。

そのために、「皆の僕になりなさい」と言っているのです。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

1 2 3 番

改訂 1 2 2 番

やってみよう

一番えらくなる人は仕えるゲームをしてみよう

用意するもの：目かくし用の布。折り返し地点に目印になる物

やり方： 5、6人が1つの列になる

1列に並んではじめに行き

は先頭の人がいばって歩き、

2番目は移行の人は頭を下げて小さくなってついていく。

折り返し地点になったら、

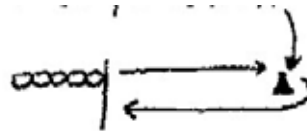
先頭の方は自分のすぐ後ろの人に目かくしをして、その人の

手を引いてゴールまでゆっくりと連れて行く。その時、目かくしをした人の後ろの人は、手を引いている先頭の方の肩に

つかまり、それ以降の方も同様に前の方の肩につかまってゆっくり歩く。

ゴールしたら

先頭だった人は一番後ろにつき、次の人が先頭になり、同様に歩いて歩く。列が一巡したら終わり。



話してみよう

- えらくなるとか一番になるというのは、どんなことを思い浮かべるかな？
- 皆の僕(しもべ)になるってどんなことだろう
- イエス様が僕のように接して下さったことがあったお話を覚えているかな？

暗唱聖句

わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。 ヨハネによる福音書 4章 14節
--

ねらい

イエスさまこそが私たちの心も体も生かす方であることを受け止めたい。

説教作成のヒント

イエスさまの言われる「水」と、サマリアの女が考えている「水」は異なることに注目して伝えたい。前者は神の霊、後者は物質としての水である。実際に水がなければ肉体は死んでしまうように、イエスさまを通して与えられる霊的な「生きた水」は人間を死から生かす力となる。

豆知識

- ・雨の少ないパレスチナでは、水はとても貴重なものだった。水が十分に得られないことは、命の危機に直面することだった。
- ・当時の習慣では、水汲みは朝と夕方に行われたが、物語中のサマリアの女は、正午ごろ水を汲みに来た。この女性は人目を避けていたということであろう。16節以下に「五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない」とあるので、これが人目を避けねばならない理由と考えられる。この女性に、イエスさまは自ら声をかけ、関わったのである。

説教

わたしたちは水を飲むことがあると思います。夏に喉がカラカラに渴いた時の、コップ1杯の水はとてもおいしく感じますね。

考えてみれば、水はいろいろなところで使われます。お料理や、お風呂、トイレ…。そう考えると、水は生活に欠かせないものですから、いつでも使えるというのはありがたいですね。

ところが、イエスさまのおられたパレスチナは雨が少ない所ですから、日本のようにいくらでも水が使える、というわけではありませんでした。

だから、町の中に深い井戸を掘って、そこから水を汲んでいたのです。

人間も、動物も、草や花も、皆、水がないと生きて行かれません。水が全く飲めないならば、人間も動物も草や花も、みんな死んでしまうのです。

水は生き物が生きるために、なくてはならないものなのです。

今日イエスさまは、「わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」と言っています。

イエスさまが与える水、とはどういうものなのでしょうか。普通の水とどう違うのでしょうか。

普通の水は、私たちの喉の渇き、体の渇きをいやし、命を支えてくれます。喉が渇いている時にお水を飲むと体が元気になるのです。

それに対して、イエスさまの与える水は、神さまの愛です。

わたしたちは一人では生きて行けません。あなたを大切に思ってくれる家族に守られ、あなたと一緒にいることを喜んでくれる友達と楽しく遊んだり、お話ししたりすることで、わたしたちは心も体も元気に生きることができます。

イエスさまは、その神さまの愛を、一人一人に分け与えるために来られたのです。病気の人や罪を犯した人を、多くの方は嫌い、遠ざけました。でもイエスさまだけは、その人たちも大切な一人でした。だから、ご自分から近づいて行って、病気を治したり、罪を赦したりしたのです。その人たちは、皆、イエスさまの愛で元気を与えられたのです。

わたしたちは誰でも、神さまから愛されていると思うと、力づけられるのだと思うのです。

わたしたちは喉が乾いた水を飲み、元気を取り戻します。動物も草も花も、水を得ることで、元気を取り戻します。同じように、イエスさまは、私たちに神さまの愛という「水」を分け与え、元気づけてくださる方なのです。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

86番

改訂44番

やってみよう

泉の水ではじき絵を描いてみよう。

用意するもの：画用紙、白のクレヨン、水色の絵の具(なければ青と白)、ふで、トレイ、
小皿(なければ何かふたでもよい)

やり方：画用紙に白いクレヨンで自分の顔を描く。

トレイに水色の絵の具の液を多めに作っておく。

1人ずつふでと小皿をもち、水色の絵の具液が入っているトレイを「泉」に見立てて、液を分けてもらってくる。

自分の絵を描いた画用紙に水色の液で全体をぬるとはじかれて自画像がうかび見えてくる。

話してみよう

- ・ 水が無いとどんな大変な事があるだろう。
- ・ イエスさまの言われた「わたしが与える水」とは何だろう。与えられたその人の内で泉になる、渇くことのない「水」は何の事について言っているのかな？

暗唱聖句

わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。	ヨハネによる福音書 11章 25節
---	-------------------

ねらい

神さまのもとにある、永遠の命を伝えたい。

説教作成のヒント

ラザロの復活の命は体の蘇生の命ではなく、主の愛の中に保たれることによる命。

豆知識

- ・命をあらわすギリシア語は「ビオス」と「ゾーエー」。前者は生物学的な命を表すのに対し、後者は人格的な命をあらわす。25節の「命」は後者。
- ・ラザロの名は「神が助ける」の意味を持つ。

説教

皆さんは、誰か親しい人を亡くしたことはあるでしょうか。また、そういう話を聞いたりしたことがあるでしょうか。そんな時、誰でも、とてもつらく、悲しく思うものです。

マルタとマリアの姉妹は、兄弟のラザロが死んでしまったことをとても悲しんでいました。それを見た多くのユダヤ人の仲間が、二人を慰めに来ていたのですが、二人の深い悲しみは、癒されません。思わずマルタはイエスさまに言いました。「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに」。イエスさまがいてくれたら、ラザロの病気を癒して下さって、ラザロは死なずに済んだらうに、と残念に思っているのです。

けれども、イエスさまは言いました。「あなたの兄弟は復活する」。さらに、「わたしは復活であり命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる」。

イエスさまにそう言われて、悲しみに沈んでいたマルタとマリアは喜んだのではないのでしょうか。イエスさまの一言は、二人を元気づけ、勇気づけたのだと思います。

わたしたちは、誰か親しい人をなくすと、もう、二度と会えない悲しさや寂しさを感じるものです。その人との温かい関係が終わってしまったり、どこへ行ったか分からなくなってしまうことが、残された人には悲しく、寂しいのです。

けれども、イエスさまは、人は死んで終わりではない、とおっしゃるのです。私たちの命は神さまによって与えられ、神さまのもとに帰っていく命です。そこには、私たちに対する、神さまの深い愛があります。

たとえ体は死んでしまっても、神さまに愛されている限り、私たちの命は、死んで終わるものではな

く、神さまと共に生きるのです。

イエスさまご自身は十字架で死んで、3日目に復活をしました。イエスさまご自身が死から立ち上がり、生きてくださったのです。それは、体の命が終わる時も、神さまに愛される命は終わらないということなのです。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

86番

改訂44番

やってみよう

十字架を作って貼ってみよう

用意するもの：画用紙、色画用紙、ハサミ、ペン、クレヨン

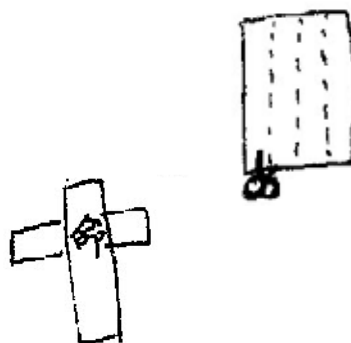
画用紙の真ん中に“死”と小さく書く

色画用紙を幅3cmでたてにまっすぐ切る

この細長い紙を2本組み合わせて十字架を作る。長さをバランス良く整えて形よく十字架を作ろう。重なった所をのりで貼る。

十字架の真中に「命」と書く

この十字架を“死”の文字がかくれる様に上に貼り付ける
十字架のまわりを自分の好きなものを描いて飾る。



話してみよう

- ・ 死んでしまったラザロに“出て来なさい”と言ったイエスさま。復活したラザロを見てみんなどうしたかな？
- ・ このことでイエスさまは何を私たちに伝えたかったのかな？